



新聞



第5号

2025/12/15 発行

網走南部
森林管理署



今年も来ました！ 小清水町植樹祭

植樹の後には昨年同様、もりのめによる森林クイズを行いました！！

9月1日(月)、30日(火)、10月15日(水)の3日間にわたり、小清水小学校の3年生を対象とした総合学習「共に生きる社会」森を守る仕事編」で授業を実施しました。この企画は昨年度末に小清水小学校より依頼があり実現したものです。

第1回目はオホーツクの村の皆様にご協力いただき、森林散策を実施しました。ネイチャービンゴをしながら林内を歩き回り、森林がどんなところなのかを感じ取ってもらい、森林への親しみも抱いてもらえたでしょうか？

第2回目は、小清水小学校で座学での授業を行い、森林のはたらきや林業のサイクル、なぜ木を伐るのかなど、クイズも交えて楽しみながら学習してもらいました。

第3回目は、株式会社佐藤製材工場の皆様にご協力いただき、当署管内の製品生産事業現場にて土場の見学を実施しました。児童たちは高

く積まれた丸太や迫力ある林業機械に大興奮!!この土場がどのような場所なのかということや、座学でも

触れた木を伐ることの必要性について、実際の現場を見て想像してもらっていたら嬉しい限りです。木を伐ることは森を破壊するのとだと思われがちですが、適切な時期に、適切な方法で、適切な量を伐ることで森は健康に保たれ、私たちの生活を守ることにも繋がります。『木を伐ることも、森を守ること。』3日間の体系的な授業を通じて、森を守るということは木を植えることだけではないということが伝わったのではないのでしょうか。



巻立作業



グラップルに乗る児童

10月11日(土)に、小清水町市街地で行われた町民植樹祭に参加しました。今回の植樹に使用したのは北海道で多く見られるエゾヤマザクラの苗木です。皆さんとても張りきって作業されていたので、用意していただいた220本の苗木はあっという間に植え終わりました。

サクラの木は早ければ5年ほどで開花するそうです。せっかく植えた苗木ですので、風や雪に負けることなく、無事に成長してきれいな花を咲かせたい様子が見たいですね。



植樹

クイズのお題には小清水町で見られる木や、植樹に使ったサクラに関することを取り上げ、植樹体験と併せて森林について知ってもらうことができたと思います。



森林クイズ！



クイズの終わりには、参加してくれた子どもたちに記念品として木のコースターを配りました。コースターに限らず、木材を使うことは、林業におけるサイクルの一部であり、健全な森づくりを支える取組です。皆さんもぜひ木製品を生活に取り入れてみませんか。

森林散策



座学授業



第5話 森林散策

4コママンガ

きーなごちやまゆくん

